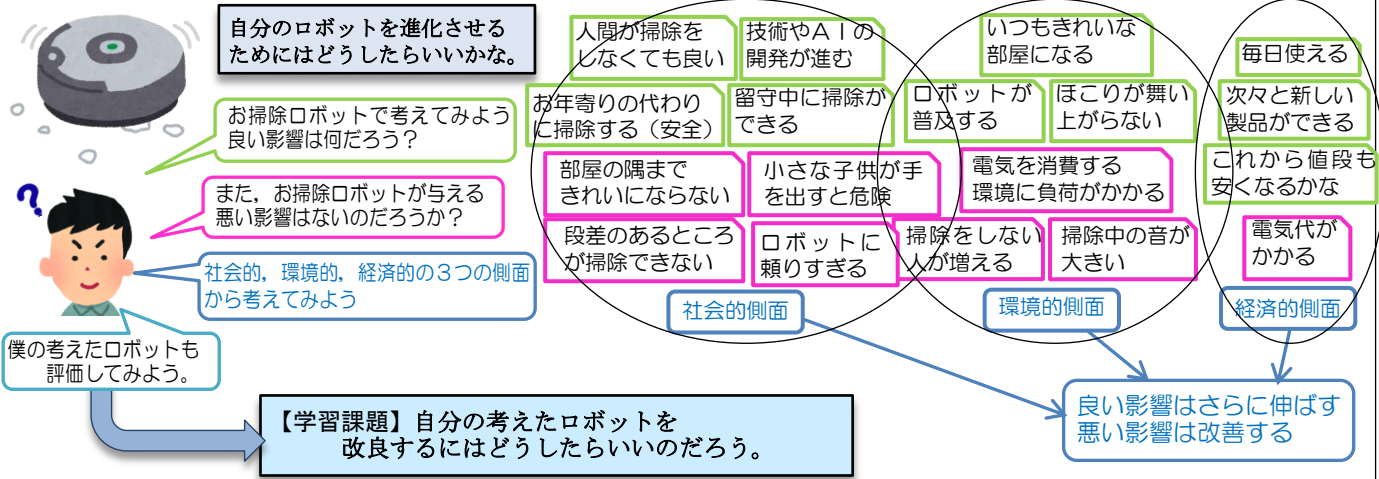


生徒が主体となる  
問題解決的な学習

### ①児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

◆生徒の関心や学習意欲を高め、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めるためには、実物や家庭・地域社会における身近な課題を取り上げることが有効です。

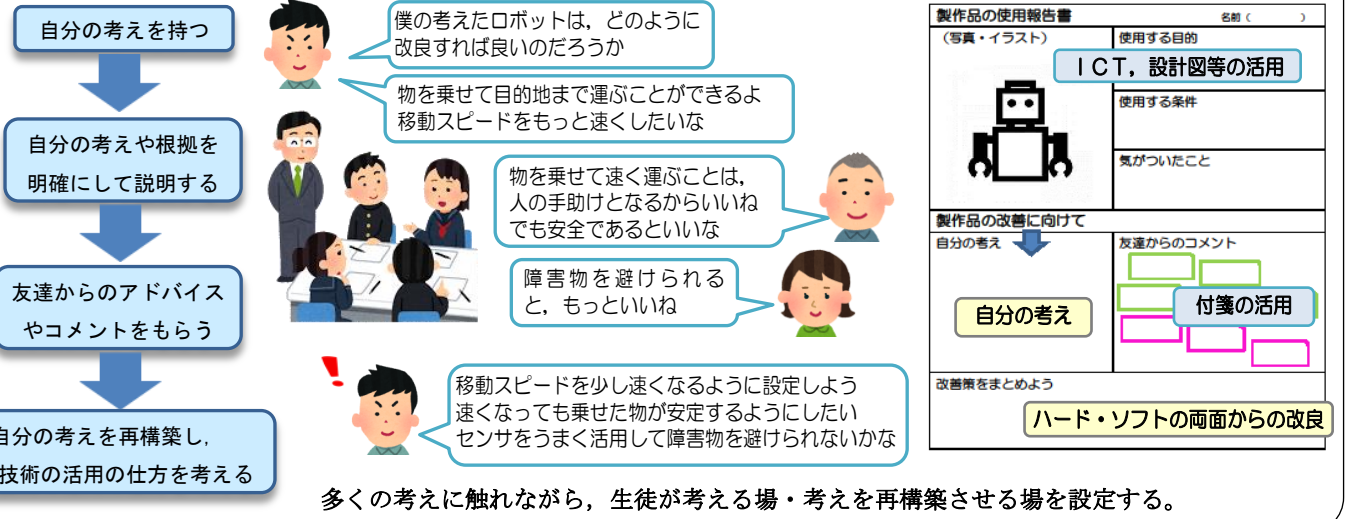


比較・検討する3つの側面については、履修する学年により側面の数や取り扱う範囲、内容の深さは検討する。

### ②考えを広げ深める対話的な学びの充実

例) 内容D「情報に関する技術」(3)  
「情報に関する技術を評価しよう」

◆生徒自らが課題を発見し、習得した知識及び技術を活用し意欲を持って追求し、解決のための方策を探る学習を取り入れましょう。自分の課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動を充実させましょう。



### ③学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

◆「目標」に応じた方法で学びを振り返らせましょう。また、学んだ知識や技術を主体的に活用できるよう、課題に取り組む場を設けることも有効です。

- \* 書く活動や自己評価・相互評価を取り入れる  
製作・制作・育成をしての感想、学んだことの活用の仕方、技術の在り方を問う等
- \* わかったことやできるようになったことを活用する問題に取り組ませる  
(活用場面を多く設け、考えさせる機会を取り入れる)

さらに技術が進歩していくが、安全性や環境に対する負荷、経済的負担等を考え、判断し、製品を購入したい



「技術を評価し活用する能力と態度」を育成するためには、生徒自らが製作・制作・育成した作品等だけでなく、広く社会で利用されている技術やこれから開発される技術を対象として捉えさせることが大切である。